

平成 25 年度 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン インテンシブコースセミナー アンケート集計結果

日時：平成 25 年 12 月 20 日（金） 講演 1：13:00～15:00、講演 2：15:30～17:30

場所：新大阪丸ビル別館

テーマ：

『がん医療における最新情報！』がん看護に必要な”生殖医療”の知識

講演 1：若年性がん患者が抱える課題

講演 2：がん治療における生殖医療の可能性

講師：清水千佳子 先生

（独立行政法人国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 外来・病棟医長

受講生：午前 51 名、午後 46 名、アンケート回収：49 名

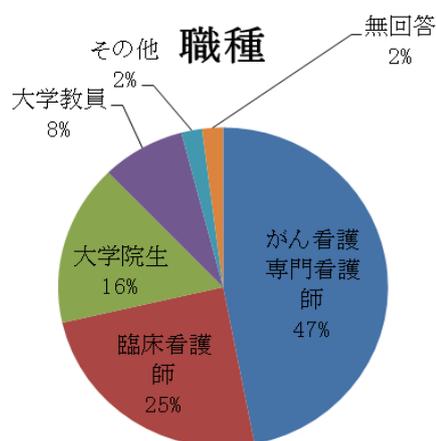
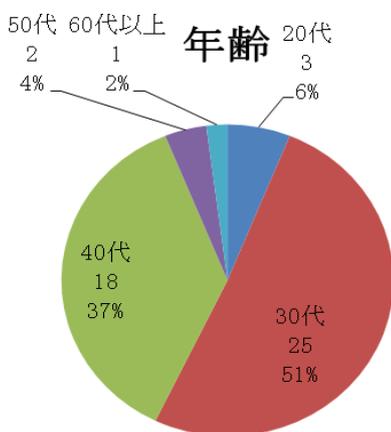
（第 1 部、第 2 部の両方受講者は 1 枚提出）

主催：兵庫県立大学看護学研究科 代表：内布敦子

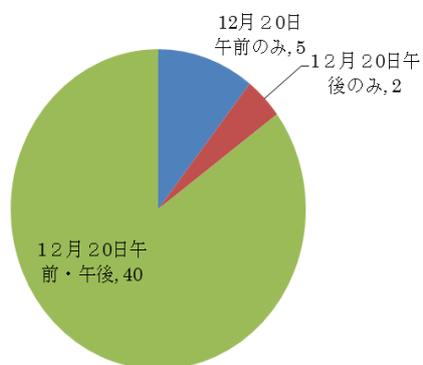


＜アンケート集計結果＞

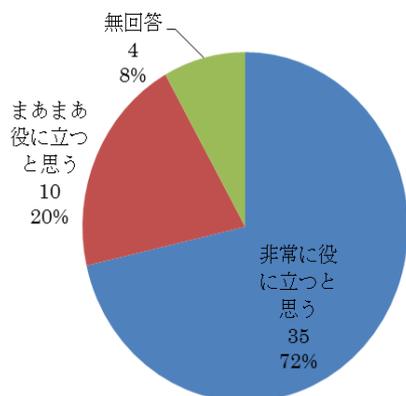
Q 1：最初にあなた自身のことについて、お尋ねします。



Q2：参加時間



3-1：今回参加されたセミナーは今後役に立つと感じますか。



Q3.企画に参加して感じたこと

① 講義内容について

- ・生殖医療についての看護経験がほとんどなかったが、参加者の事例を通じて、ディスカッションができたのが良かった。
- ・生殖医療について学ぶ機会があまりなかったので非常に参考になることがあった。自施設でできることから少しずつ取り組んでいきたい。
- ・網羅的に知識提供していただき大変勉強になった。
- ・若年がん患者の問題が勉強できた。
- ・現場ではなかなか踏み入れられなかったことなので勉強になった。
- ・他で学ぶ機会のなかったテーマについて詳しく学べて良かった。
- ・現在の生殖医療について良く分かった。

② 学んだ内容・気づき

自分の今までの認識を改める機会になった

- ・化学療法を受ける患者さんに対して、妊孕性について一言も説明しておらず、「化学療法が最優先」という価値観でいたことに気付いた。
- ・妊孕性について、自分の臨床経験を振り返っても、患者が抱えている課題の一つとして認識できていなかったことに気付いた。
- ・治療の副作用などの現在のセルフケア支援が手一杯で、患者さんの未来のことを考えた医療についての取り組みまで及んでいなかったことに気づくことができました。

知識の必要性の気づき・今後の改善点について

- ・化学療法用のパンフレットには妊孕性について一言も書いていなかったのので、患者さんの悩みを引き出せるきっかけになる文章を追加しなければならないと思った。そのためにも自分の知識向上の必要性を感じた。
- ・若い乳がん患者に性の問題を質問されると、不安でどう答えて良いのかと思いながらケアをしていた。今回の学びを深め、いつでも性の問題や不安に対応できるように資料もそろえたいと思います。
- ・情報提供の大切さを学んだ。
- ・生殖医療については本当に無知で、介入すべきタイミングや提供すべき情報を知らないうちに逃してしまっていたと感じた。
- ・生殖医療に患者がニーズを感じているか、優先したいことが何かを見極めて情報提供できるよう勉強していきたい。
- ・生殖医療についての知識不足が分かってよかった。これから勉強していきたい。
- ・自分の病棟では女性の患者さんに関して情報提供が少ないことを改めて感じた。
- ・自分自身も情報を得て患者さんと一緒に考えていくことの重要性を改めて感じた。
- ・自施設でも妊孕性について積極的に情報提供をしていきたいと思う。
- ・直接関わったことがほとんどなかったのので、今後知識を深め問題意識をもっていきたいと感じた。
- ・今回のテーマにある内容の相談は実際少なく、それがニーズはあるものの話しにくい内容なのかと思い講義を受けた。件数はすくないものの、知識を得ておくことは必要と思い参加した。相談室にもニーズのある方が気軽に相談できるような取り組みはないかと考えた。(がん相談担当の OCNS)
- ・妊孕性、セクシャリティに関して、避けているようなところがあるので、もっと踏み込んでかわりがしていければ、と思った。
- ・妊孕性やセクシャリティは、なかなかオープンに話し合うことができない日本の風土というか、文化と言うか、その中で多くの方が悩んでいることが分かります。患者に妊娠の事や性生活について悩みがないか、こっそり相談できるような方法などを考えてみたいと

思う。

看護について

- ・看護師としての役割が発揮できる問題だと感じた。実践に活かしたい。
- ・それぞれ患者の背景が違い、答えがないことを決めていかなければならない事は難しいと思った。そのエビデンスが明確でないなか、看護師の役割は何かをグループワークできて良かった。
- ・看護師としてできる限り、しなければならぬ事が整理できた。
- ・生殖医療については他施設での取り組みなど(パンフレットがあるとか)などをディスカッションで知ることができ、参考になった。
- ・まだまだエビデンスも十分ではなく課題が山積している領域ではあるが、その中での看護の役割を改めて考えていきたい。
- ・看護師が担う役割がたくさんあることが分かった。
- ・看護師としての役割を考えられて良かった。

③ 感想

- ・生殖医療の現状を学べた。
- ・現場のスタッフの方もどのように対応していけば良いか悩んでいることが分かった。
- ・CNS が頑張っていること、期待されていると思った。
- ・みんなが同じ悩みを抱えていることが分かった。みんなが試行錯誤していることを感じた。
- ・経験談が聞いて勉強になった。
- ・参考になった。
- ・もっと社会に看護の役割を伝えていかないといけないと思った。
- ・新たな知識を得て、刺激になった。清水先生のような先生とは働きやすいだろうと思った。
- ・最近、若いがん患者さんに関わることが多くなり、自分の抱えているモヤモヤしたものが少し晴れたように思った。
- ・生殖医療に関しては、病期やその人の背景など、個別性が非常に高い分野だと改めて感じた。
- ・ディスカッションの時間が多く、他施設での具体的な情報も知ることができてよかった。
- ・他施設でも同じように悩んでいたことが分かり自身の明日からの活力となった。
- ・看護師に近い医師で、とても心強く感じた。

Q4-1.がん看護実践上の課題

- ・粒子家族の増加で治療期、終末期の患者の望む生活、療養の場の提供が難しいこと。

・麻薬を服用しているために、長年入所していた施設に帰れない、独居は難しいなどの問題。

・管理者との協働。

・子供のサバイバーのフォローアップ、再発治療時に小児病院と成人領域のがんセンターとの連携が不足していることを感じる。

・がん患者の就労復学支援、会社や学校との連携。就労支援に対する看護→就労支援に関するパンフレットの紹介。

・新たな知識・情報をキャッチアップしていくのが難しい。

・倫理上の問題点について

・若い人や老年であっても、がんを持った人たちの思いはなかなか聞き出す機会が少ない。互いが、サバイバー同志として話せる場が少なく交流会は活発ではない(職種その他の人)

・ジェネラリスト看護師の育成

・病気を子どもに伝えず、悩んでいる。子どものメンタルサポートがない。

・遺伝カウンセリング立ち合いにあたり、倫理面での問題が非常に多い。何が良い、悪いのジャッジがではないことは分かるが、相談者が回答を求める場合があり、看護師には対応が難しい。

・外来化学療法室で勤務しているが、治療をしているのだから、と安心をしている家族もあり、現状を把握されていないまま、化学療法が PD となり、BSC へという説明になって家族が呼び出されている。家族がギャップを埋められない。外来がん患者の家族への看護に問題を持っている。

・倫理的な問題に関する医師との調整。

・外科に勤めているため、完治を目標とする人が多い中で再発とかでまたお会いしたときに、継続した看護ができてなかったのかと思うときがある。

・若い看護師のキャリアアップについて。看護師の基礎教育と卒後の教育体制と臨床経験...

・現在セクシャリティ、妊孕性の問題でいくつかの困難な事例を抱えていたので今日のセミナーは私にとってタイムリーでありとても勉強になった

・高齢で独居の方の外来化学療法の支援や生活支援、どこまで治療を続けていくのか。

・自分自身の問題が大きいですが、交渉力と状況判断力、説明力など。

・疼痛コントロールについて。患者の訴えだけで疼痛を評価し、ガイドラインにのっとってオピオイド量を調整すると、どんどんオピオイド量が増加していく時があり、痛みの判断・評価が難しく困っている。

Q4-2.今後セミナーで取り上げてほしい内容

・遺伝子異常×2

・2次発がんについて

・がんを持った人の気持ちを支えるケア、化学療法を行った人の気持ちを支えるケア(職種

その他の人)

- ・看護の成果、効果を示すこと、その方法について。
- ・今後も遺伝セミナー、老年患者について知りたい。
- ・サイコオンコロジー
- ・アドバンス・ケア・プランニング
- ・がんの親を持つ子どものサポート、親のサポート、または高齢者のがん患者のサポート、認知症や老々介護など。
- ・家族ケアの重要性と必要性を認識するようなセミナー
- ・ジェネラリストから管理者になった方々との関わり方など
- ・化学療法の副作用、特に神経障害。
- ・がんの親を持つ子供のサポート。子供の年齢に合わせたケアについてなど。
- ・セクシュアリティの問題。
- ・小児がん。
- ・高齢者の地域でのサポートや取り組み。
- ・超高齢者のがん治療の支援

Q5.その他、感想など

- ・有意義なセミナーありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても刺激になりました。
- ・ありがとうございました。
- ・現場でリーダーシップをとっている看護師の方がたくさん参加されており、今日のような参加型のセミナーはとても貴重な意見を聞くことができ、充実していた。